

平成28年度 編入学生募集要項

編入学案内

出 願 期 間	平成27年7月14日（火）から7月17日（金）
学力検査及び面接	平成27年8月19日（水）
合 格 者 発 表	平成27年8月25日（火）



NIT, Suzuka College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739

FAX 059-368-1738

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

目 次

編入学生募集要項

I. アドミッション・ポリシー(編入学生受入方針)	1
1. 求める入学志願者像	
2. 入学者選抜方針	
II. 募集人員	1
III. 出願資格	1
IV. 入学願書受付	2
V. 出願手続	2
VI. 選抜の方法	3
VII. 合格者の発表	5
VIII. 入学確約書の提出	5
IX. 入学手続	5
X. 出願上の注意事項	6
XI. 個人情報の取扱いについて	6

編入学案内

I. 鈴鹿高専について	7
1. 鈴鹿高専の歴史	
2. 教育理念	
3. 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進	
II. 修業年限及び学科卒業生の称号	8
1. 修業年限	
2. 学科卒業生の称号	
III. 学科紹介	8
IV. 学生支援制度等	9
1. 課外・クラブ活動	
2. 学生寮	
3. 学生支援室	
V. 入学料・授業料免除制度及び奨学金制度	9
1. 入学料・授業料免除制度	
2. 奨学金制度	
VI. 卒業までに必要な経費(予定額)	10
VII. 編入学後の教育	10
1. 教育課程	
2. 学習指導について	
3. 第4学年編入学時の単位認定について	

編 入 学 生 募 集 要 項

I. アドミッション・ポリシー（編入学生受入方針）

1. 求める入学志願者像

- ・ 科学技術に興味をもち、その発展に夢を抱く人
- ・ 自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・ 論理的に物事を考えることができる人
- ・ 何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

2. 入学者選抜方針

本校では、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目的とし、その高い可能性を持った学生の選抜を基本とします。

入学者の選抜は、筆記試験及び面接試験の結果を総合して行います。

筆記試験においては、実践的・創造的技術者教育に必要な科目を十分理解できる学生を選抜するため、基礎となる英語、数学、学科個別科目の試験を行います。学科個別科目については、工業系高校、普通高校を含めた各課程の学生に対応するため、学科別専門科目と物理・化学・生物からの選択制になっています。

面接試験においては、科学技術や工学を学ぶ意欲、適性を総合的に評価します。

II. 募集人員

学科別の募集人員は、下記のとおりです。

学 科	募集人員	編入学年
電子情報工学科	若干名	第 4 学年
材 料 工 学 科	若干名	

III. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （１）高等学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- （２）高等学校を卒業した者
- （３）高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※上記（３）により出願する者は、事前に学生課入試係へ問い合わせてください。

Ⅳ. 入学願書受付

期 間	平成27年7月14日（火）から7月17日（金）まで。 郵送の場合も7月17日（金）までに必着とします。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

Ⅴ. 出願手続

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）ゆうちょ銀行から振り込む場合は、振込依頼票が異なります。詳細は巻末をご覧ください。

振込期間は平成27年7月6日（月）～7月17日（金）です。

振込後、以下の出願書類を願書受付期間中に持参または郵送してください。

郵送の場合は、角2封筒を使用して必ず書留郵便で送付してください。

出 願 書 類	摘 要
編入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
受 験 票 写 真 票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のもの。（縦4cm×横3cm） 写真票に銀行の収納印のないものは無効です。（ゆうちょ銀行から振り込んだ場合は、振込受付書を写真票に添えて提出すること。）
証 明 書	高等学校を卒業した者または高等学校を卒業見込みの者 ①成績証明書 在籍（出身）学校長が作成し、厳封したもの。 ②卒業証明書または卒業見込証明書 在籍（出身）学校長が作成したもの。 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 ①大学入学資格検定合格者または高等学校卒業程度認定試験合格者、合格見込みの者は合格成績証明書等 ②高等学校での在学期間がある場合は、その在学期間中の成績証明書 出身（在籍）学校長が作成し、厳封したもの。 ③その他、本校が必要とする証明書等
返信用封筒 （直接持参の場合不要）	添付の封筒に本人の住所・氏名及び郵便番号を明記し、672円（速達、簡易書留郵便料を含む。）切手を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受ける住所・氏名・郵便番号を記入すること。

※平成27年度に高等学校卒業程度認定試験を受験する者は、事前に申し出てください。

VI. 選抜の方法

入学者の選抜は、筆記試験（英語、数学、学科個別科目）及び面接試験の結果を総合して行います。筆記試験では英語及び数学を各100点満点、ならびに学科個別科目を200点満点で評価します。面接試験では意欲、適性を100点満点で評価し、筆記試験との合計500点満点で評価します。

（１）筆記試験

出題する科目及びその範囲は次のとおりです。

各学科共通科目

科目名	検査時間	出題範囲
英語	60分	コミュニケーション英語Ⅰ（全範囲） コミュニケーション英語Ⅱ（全範囲）
数学	60分	数学Ⅰ及び数学Ⅱ（全範囲） 数学Ⅲ 極限，微分法 数学B ベクトル

学科個別科目（選択制）

学科	検査希望番号	科目名	検査時間	出題範囲
電子情報工学科	1	工業・電気基礎	120分	直流回路，磁気と静電気，交流回路 電気計測，各種の波形
		工業・情報技術基礎		産業社会と情報技術，コンピュータの基礎 コンピュータシステム，プログラミングの基礎 コンピュータ制御の基礎，情報技術の活用
	2	理科・物理	120分	物理基礎（全範囲） 物理 様々な運動，電気と磁気
		理科・化学		化学基礎（全範囲） 化学 物質の状態と平衡，物質の変化と平衡，無機物質の性質と利用，有機化合物の性質と利用

材 料 工 学 科	1	工業・機械工作	120 分	機械材料 各種の工作法（鋳造, 溶接, 鍛造, プレス）
		理 科・物 理		物理基礎 （全範囲） 物理 様々な運動, 電気と磁気
	2	工業・機械工作	120 分	機械材料 各種の工作法（鋳造, 溶接, 鍛造, プレス）
		理 科・化 学		化学基礎 （全範囲） 化学 物質の状態と平衡, 物質の変化 と平衡, 無機物質の性質と利用, 有機化合物の性質と利用
	3	理 科・物 理	120 分	物理基礎 （全範囲） 物理 様々な運動, 電気と磁気
		理 科・化 学		化学基礎 （全範囲） 化学 物質の状態と平衡, 物質の変化 と平衡, 無機物質の性質と利用, 有機化合物の性質と利用

※ 学科個別科目は、選択制です。入学願書に検査を希望する科目の番号を○で囲んでください。
電子情報工学科は、 1・2 の内いずれか1つを選択してください。
材料工学科は、 1・2・3 の内いずれか1つを選択してください。

(2) 面接

受験者全員に面接を行います。

(3) 検査日時及び場所

検査日時

期 日	科目名	検査時間	配点 (合計500点満点)
平成27年 8月19日(水)	英 語	9:30～10:30	100点
	数 学	10:50～11:50	100点
	学科個別 科 目	13:00～15:00	200点
	面 接	15:20～	100点

検査場所 鈴鹿工業高等専門学校

VII. 合格者の発表

平成27年8月25日(火) 午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。なお、合格者あてに合格通知書を発送します。

当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

ホームページアドレス <http://www.suzuka-ct.ac.jp>

電話による可否の問い合わせはご遠慮願います。

VIII. 入学確約書の提出

合格通知を受けた方は、平成27年9月25日(金)午後5時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない方は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

IX. 入学手続

合格者あてに別途通知します。

X. 出願上の注意事項

- (1) 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。この受験票は、検査当日必ず持参してください。
- (2) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更、書類及び検定料の返還は理由を問わず認めません。
- (3) 出願資格が、高等学校卒業見込み及び高等学校卒業程度認定試験合格見込みである者については、平成28年3月末日までに卒業又は合格できなかった場合は本校に入学することはできません。
- (4) 提出書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (5) 本校に入学を志願する者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち、平成27年7月3日（金）までに本校学生課入試係へ申し出てください。

XI. 個人情報の取扱いについて

本校では、入学志願者から提出された入学願書や証明書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

編 入 学 案 内

I. 鈴鹿高専について

1. 鈴鹿高専の歴史

昭和37年(1962年)4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校です。

現在、全国に51校55キャンパスの国立高等専門学校が設置されていますが、鈴鹿工業高等専門学校(以下「鈴鹿高専」という。)は制度創設と同時に、機械工学科、電気工学科(現電気電子工学科)、工業化学科(現生物応用化学科)の3学科体制で出発しました。その後金属工学科(現材料工学科)と電子情報工学科が増設され、これまでに約8,000人の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年度には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程を卒業後さらに2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成16年度には技術者教育の新地平をめざして、独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する国立高専の1つとして組織改変がなされるとともに、大学評価・学位授与機構による教育研究活動などの総合的な評価を定期的に受けることになり、平成17年度に引き続き、平成24年度に高等専門学校評価基準を満たしていると認定され、数多くの取組みが高く評価されました。

2. 教育理念

今日、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では建学の精神を範とした、次のような教育理念を定め、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目指しています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

3. 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進

鈴鹿高専では、学科第4、5学年と専攻科1、2年次の計4年間で学習する技術者教育プログラム(「複合型生産システム工学」プログラム)を推進しています。この教育プログラムは、平成15年度から日本技術者教育認定機構(JABEE)の正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を得ています。入学者は、自動的にこのプログラムの履修生となります。

Ⅱ．修業年限及び学科卒業生の称号

1．修業年限

本校の修業年限は5年ですが、編入学生は第4学年から学習しますので2年間です。

2．学科卒業生の称号

第5学年卒業者は「準学士(工学)」と称することが認められます。

なお、高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、大学評価・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位を取得できます。

Ⅲ．学科紹介

・機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造，運動と振動，エネルギーと流れ，情報と計測・制御，設計と生産）に加えメカトロニクス・ロボット工学・CAD／CAMなどコンピュータ応用技術に関する幅広い知識も習得します。

・電気電子工学科

電力・鉄道などのインフラからスマートフォンやデジタル家電など様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ，機械・化学・食品・IT産業などの分野で活躍できる技術者を目指し，電気電子技術・情報通信技術を学びます。また，本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

・電子情報工学科

電子情報工学に関する理論と知識（電気磁気学，電気回路論，電子回路，計算機アーキテクチャ，プログラム設計，オペレーティングシステム，ソフトウェア工学，情報通信ネットワーク，人工知能など）及びハードウェアとソフトウェアの融合化技術に関する知識を学びます。

・生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」と生物工学を学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共に医薬・化粧品などのファインケミカルズ，プラスチック，環境保全などに関連する知識や技術を習得するほか，最新の化学理論とバイオテクノロジーをそれぞれ学びます。

・材料工学科

材料工学に関する理論と知識（材料の物理と化学，材料の構造・物性・機能，製造プロセス，材料設計等）とその基礎の上に立った幅広い工学全般に関する理論と知識を学び，21世紀の社会で広く活躍できる技術者を目指します。

IV. 学生支援制度等

1. 課外・クラブ活動

課外活動やクラブ活動は、学生の心身を鍛え、人間の幅を広げてくれる効果があります。鈴鹿高専では、教育理念に沿ってこれらの活動に対する支援に努めています。学生自身が運営する「学生会」のもとに、体育系クラブと文科系クラブ、同好会があり、若者のやりたいことのほとんどすべてが揃っています。また、ソーラーカーレース、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト及びエコランレースへの参加など理工系の学校らしい活動もできます。

2. 学生寮

学校敷地内に、学生のための寮である「青峰寮」（低学年男子寮、高学年男子寮、女子寮、留学生・専攻科生寮）があり、入寮を希望する学生は選考を経て入寮することができます。寮は自宅が遠い、勉強やクラブ活動に励みたい、社会性を身につけたいなど様々な理由をもつ学生の支援制度として大切な役割を果たしています。規則正しい共同生活を行いながら、多くの学生が勉強や課外活動に取り組んでいます。また寮祭などの行事を楽しみ、一生つき合える友人を得て、社会へ巣立っていきます。

3. 学生支援室

学生支援室では、学生のキャンパスライフを支援するために、学生生活の中で生じる様々な相談ごとや悩みごと（健康・学習・進路・部活動、また交友関係や家庭問題等に関すること）に耳を傾け、また問題解決するための学生相談員（本校教職員）や学外カウンセラーが配置されています。

V. 入学料・授業料免除制度及び奨学金制度

1. 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している方が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

・授業料免除

経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

2. 奨学金制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れた者で経済的理由により就学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ、奨学金が貸与されます。

その他、地方公共団体や民間育英団体による奨学金もあります。

VI. 卒業までに必要な経費（予定額）

（通学生・寮生共通）

在学中の学校納入金及び緒経費等

（円）

学年等		授業料	諸経費等					計
			諸経費 積立金	学生 会費	日本スポーツ 振興センター 会費	教育 後援会	傷害 共済 会費	
第4学年	前期	117,300	28,000	10,200	1,520	29,200	500	186,720
	後期	117,300	17,000	-	-	19,200	-	153,500
第5学年	前期	117,300	19,500	7,200	1,520	19,200	500	165,220
	後期	117,300	-	-	-	19,200	-	136,500

①入学手続き時に入学料 84,600 円が別途必要になります。

②教科書・教材費等約 40,000 円（学科によって異なります。）が別途必要になります。

（寮生のみ）

入寮生経費

（円）

学年等		寄宿料	学 寮 生活費	エアコン 経 費	計
第4学年～第5学年	前期	4,800	32,950	約 12,000	約 49,750
	後期	4,800	32,950	約 12,000	約 49,750

①入寮時のみ入寮費 4,000 円が別途必要になります。

②別途食費 月平均約 20,000 円が必要です。

学寮生活費は諸物価高騰等の理由により改定される場合があります。

③エアコン経費は寮生の人数により変動します。

VII. 編入学後の教育

1. 教育課程

本校の教育課程は、別表 1（一般科目）、別表 2（専門科目）のとおりです。編入学生は第 4 学年以降の科目を履修します。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育に力を入れており、4 学年では全員に TOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IP テストを含む。）受験を義務づけています。

2. 学習指導について

編入学合格者に対して、入学前に予備学習のための支援を行います。（編入学の前年度の12月中旬及び3月下旬に、編入学する学科の基礎的な専門科目について担当教員から教科書等を用いて学習支援を行います。）また、入学後必要に応じて補講等の学習指導やチューターによる学習支援を行います。

3. 第4学年編入学時の単位認定について

編入学生には、本校学生が1～3学年で修得すべき単位数と同一の単位数を一括認定します。

学科名 一般科目(機械工学科・電気電子工学科・電子情報工学科・材料工学科)

(平成24年度以降入学)

区 分	授業科目		単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必 修 科 目	人 文 社 会	国語ⅠA	2	2					
		国語ⅠB	2	2					
		国語Ⅱ	2		2				
		日本文学	2			2			
		世界史Ⅰ	2	2					
		世界史Ⅱ	1		1				
		政治・経済	2		2				
		倫理・社会	1		1				
		地理	2	2					
	自 然 科 学	基礎数学A	4	4					後期実施
		基礎数学B	2	2					
		線形代数Ⅰ	2		2				
		線形代数Ⅱ	1			1			
		微分積分Ⅰ	4		4				
		微分積分Ⅱ	4			4			
		数学講究	1			1			
		物理	5	2	3				
		化学	4	2	2				
	外 国 語	英語ⅠA	4	4					前期実施 後期実施
		英語ⅠB	2	2					
		英語ⅡA	2		2				
		英語ⅡB	3		3				
		英語Ⅲ	2			2			
		英語特講Ⅰ	1			1			
		英語特講Ⅱ	1			1			
		英語Ⅴ	2					2	
		保健体育(武道を含む)	10	4	2	2	2		
	小計		72	28	26	14	2	2	
選 択 必 修 科 目	言語表現学Ⅰ	言語表現学Ⅰ	1				1		同時開講 前期実施 左記5単位の中から1 単位以上修得
		歴史学概論Ⅰ	1				1		
		技術者倫理入門Ⅰ	1				1		
		法学Ⅰ	1				1		
		技術経営Ⅰ	1				1		
	言語表現学Ⅱ	言語表現学Ⅱ	1				1		同時開講 後期実施 左記5単位の中から1 単位以上修得
		歴史学概論Ⅱ	1				1		
		技術者倫理入門Ⅱ	1				1		
		法学Ⅱ	1				1		
		技術経営Ⅱ	1				1		
	物理学特講	物理学特講	1				1		同時開講 前期実施 左記5単位の中から1 単位以上修得
		現代科学Ⅰ	1				1		
		現代科学Ⅲ	1				1		
		現代科学Ⅳ	1				1		
		現代科学Ⅴ	1				1		
	化学特講	化学特講	1				1		同時開講 後期実施 左記5単位の中から1 単位以上修得
		現代科学Ⅰ	1				1		
		現代科学Ⅱ	1				1		
		現代科学Ⅲ	1				1		
		現代科学Ⅳ	1				1		
	英語ⅣA	英語ⅣA	2				2		同時開講 左記4単位 の中から2単位以上修得
		英語ⅣB	2				2		
	小計		6				6		
選 択 科 目	美術	美術	2	2					同時開講
		音楽	2	2					
		書道	2	2					
	文学概論Ⅰ	文学概論Ⅰ	1				1		同時開講 前期実施
		心理学Ⅰ	1				1		
		経済学Ⅰ	1				1		
		哲学Ⅰ	1				1		
		文学概論Ⅱ	1				1		
	心理学Ⅱ	心理学Ⅱ	1				1		同時開講 後期実施
		経済学Ⅱ	1				1		
		哲学Ⅱ	1				1		
		数学特講Ⅰ	1				1		
		数学特講Ⅱ	1				1		
	実用英語Ⅰ	実用英語Ⅰ	1					1	同時開講 前期実施
		社会学Ⅰ	1					1	
		中国語Ⅰ	1					1	
		実用英語Ⅱ	1					1	
		社会学Ⅱ	1					1	
	中国語Ⅱ	中国語Ⅱ	1					1	同時開講 後期実施
		中国語Ⅱ	1					1	
	小計		8	2			4	2	
一般科目開設単位数			86	30	26	14	12	4	
一般科目総開設単位数			118	34	26	14	36	8	

*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目

学科名 専門科目 (電子情報工学科)

(平成23年度以降入学)

区分	授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	電子情報工学序論		1	1					
	プログラミング基礎		1	1					
	情報処理Ⅰ		1	1					
	マイクロコンピュータ基礎		1		1				
	電気電子基礎		2		2				
	プログラム設計		2		2				
	応用物理Ⅰ		2			2			
	応用物理Ⅱ	*	2				2		
	ディジタル回路		2			2			
	オペレーティングシステム		2			2			
	データ構造とアルゴリズム		2			2			
	電子機器学		1			1			
	電子工学		2			2			
	電気磁気学	*	4			2	2		
	電気回路論	*	4			2	2		
	電子回路	*	3			1	2		
	応用数学Ⅰ	*	2				2		
	ソフトウェア工学	*	2				2		
	計算機アーキテクチャ	*	2				2		
	情報通信ネットワーク	*	2				2		
	基礎制御工学	*	2				2		
	創造工学		2				2		
	情報理論Ⅰ	*	1				1		
	電子材料工学	*	2					2	
	電子情報工学実験	*	14	2	4	4	4		
	卒業研究		10					10	
	小計		71	5	9	20	25	12	
選択必修科目	情報理論Ⅱ	*	1					1	3単位以上修得
	計算機工学	*	2					2	
	情報数学	*	2					2	
	電子計測	*	2					2	3単位以上修得
	光電子工学	*	2					2	
	集積回路工学	*	1					1	
	小計		10					10	
選択科目	数値解析	*	1					1	
	応用数学Ⅱ	*	2					2	
	画像処理工学	*	2					2	
	人工知能	*	2					2	
	電子制御工学	*	2					2	
	創造工学演習		5	1	1	1	1	1	
	インターンシップ		2				1	1	
	小計		16	1	1	1	2	11	
専門科目開設単位数		97	6	10	21	27	33		
一般科目開設単位数		86	30	26	14	12	4		
開設単位数合計		183	36	36	35	39	37		
修得単位数		167以上	134単位以上						
			167以上(専門科目82以上)						

課題研究	別に定める
------	-------

*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目

学科名 専門科目 (材料工学科)

(平成23年度以降入学)

区分	授業科目		単位数	学 年 別 配 当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	応用数学Ⅰ	*	2				2			
	応用物理Ⅰ		2			2				
	応用物理Ⅱ	*	2				2			
	情報処理Ⅰ		2	2						
	情報処理Ⅱ		1		1					
	情報処理応用	*	1					1		
	機械工作法		1		1					
	材料工学序論		1	1						
	基礎材料学		2		2					
	材料組織学		2			2				
	材料強度学		2			2				
	材料力学	*	1				1			
	熱力学		2			2				
	無機化学		1			1				
	無機材料	*	2				2			
	有機化学		2			2				
	有機材料	*	2				2			
	鉄鋼材料	*	2				2			
	非鉄金属材料	*	1				1			
	物理化学Ⅰ	*	1				1			
	物理化学Ⅱ	*	1				1			
	結晶解析学	*	1				1			
	材料プロセス工学	*	1							1
	材料機器分析	*	1							1
	生産工学	*	1							1
	機能材料	*	1							1
	高分子機能材料	*	1							1
	半導体工学	*	1							1
	量子力学	*	1							1
	電気化学	*	1							1
	接合工学	*	1					1		
	鑄造工学	*	1							1
	塑性加工	*	1							1
	複合材料	*	1							1
	設計製図Ⅰ		1	1						
	設計製図Ⅱ		1		1					
	設計製図Ⅲ		1			1				
	設計製図Ⅳ	*	1				1			
	ものづくり実習		2		2					
	創造工学		2				2			
	材料工学実験	*	13	2	1	4	4	2		
	卒業研究		9					9		
	小計		76	6	8	16	23	23		
選択科目	応用数学Ⅱ	*	2					2		
	材料環境科学	*	1					1		
	工業英語	*	1					1		
	電気工学基礎Ⅰ		1			1				
	電気工学基礎Ⅱ	*	1				1			
	材料設計学	*	1					1		
	設計製図Ⅴ	*	1					1		
	機械工学基礎Ⅰ	*	1				1			
	機械工学基礎Ⅱ	*	1					1		
	創造工学演習		5	1	1	1	1	1		
	インターンシップ		2				1	1		
	小計		17	1	1	2	4	9		
専門科目開設単位数			93	7	9	18	27	32		
一般科目開設単位数			86	30	26	14	12	4		
開設総単位数合計			179	37	35	32	39	36		
修得単位数			167以上	134以上 167以上(専門科目82以上)						

課題研究

別に定める

*の4, 5年は学則第26条第3項による授業科目

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（以下参照）」を受領してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込依頼書 (兼振替払出請求書) [電信振込]

振込先 (郵便局・ゆうちょ銀行・ゆうちょ銀行以外の金融機関)

振込金額 (円)

振込人 (ゆうちょ銀行・ゆうちょ銀行以外の金融機関)

※振替払出請求書預金口座振替による振込受付書（サンプル）

振替払出請求書 預金口座振替 による振込受付書

科目

取扱年月日

取扱店番号

振込先

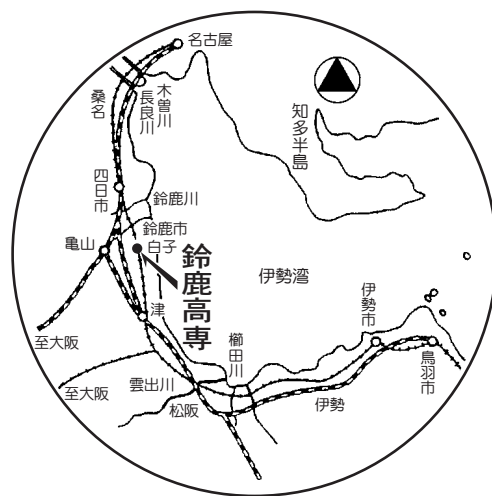
振込金額

合計金額

振込先がゆうちょ銀行

振込先がゆうちょ銀行以外

学校の位置図および交通機関



本校までの交通案内

- ・近鉄名古屋線白子駅下車、
三重交通バス白子駅西口から
平田町行又は鈴鹿サーキット
行に乗車約10分、東旭が丘
3丁目下車、徒歩約10分

入学試験に関する問い合わせ、出願書類の提出先

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

学生課 入試係

TEL 059-368-1739

FAX 059-368-1738

ホームページ

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町